

(2) 暮らしの中の音

① 暮らしの中でどんな音を出しているのかな？

私たちはたくさんの音に囲まれて生活しています。人の声や足音、車の音、テレビやCDの音、店先のスピーカーの音、工事の音など、音にはたくさんの種類があり、音の大きさもいろいろです。

騒音・振動の単位
dB(デシベル)について



身近な音の大きさ(デシベル)(音の大きさを表す単位)

40デシ	50デシ	60デシ	70デシ	80デシ	90デシ	100デシ
 ●図書館	 ●静かな教室 ●上の階で走りまわる足音	 ●ふつうの話し声 ●1mはなれたテレビの音	 ●うるさい教室 ●1mはなれたステレオの音	 ●上空を通過するヘリコプターの音 ●1mはなれたピアノの音	 ●ダンプカーの走る音 ●5mはなれた犬の鳴き声	 ●大声で叫んだ音
人に与えるえいきょう ぐっすり眠れない 眠れない 計算まちがいをしやすい 集中力がなくなる 会話ができない						

音には、楽しい気分になる音や役に立つ音もありますが、反対にうるさく感じる音もあります。人がうるさく感じたり、迷わくを感じたりする音を「騒音」と呼んでいます。

私たちは、自分でもいろいろな音を出して生活しています。自分にとっては迷わくと思わなくても、周りの人には迷わくになっていることもあり、知らないうちに騒音を出していることもあるのです。

その他にも、自動車やバイクなどによる騒音、飛行機の騒音、工場などから出る

騒音、工事現場の騒音、スピーカーからの大きな音などたくさんの種類の騒音があります。

札幌でも、例えば自動車の騒音などがひどくなってくると、道路のそばに住んでいる人たちが迷わくします。

また、騒音と共に「振動」も問題になっています。振動とは「ゆれ」のことで、人が感じないような小さな振動から、たなから物が落ちてくるような大きな振動まであり、しばしば騒音といっしょに発生します。



② どんなことに気を付けたらいいのかな？

私たちが騒音や振動で、他の人に迷惑をかけないようにするために、下の絵のようなことに気を付けましょう。

そうじ機、せんたく機など

- 使う時間を考える。
(朝早くや夜おそくには使わない)
- せんたく機はぼう音、
ぼう振用のゴム脚を付ける。



テレビ、ステレオ、楽器など

- 聞く時間や楽器などを
鳴らす時間に気を付ける。
- 音量を小さくして聞く。
- 窓を閉める。



足音

- アパートやマンションでは、
ドンドン音を立てて歩かない。
- じゅうたんなどを歩いて、
下の階に音や振動が
伝わりにくくする。



けいたい電話・スマートフォン

- たくさんの人がいる前や、
電車、地下鉄、バスの中では使わない。
- 映画館やコンサート会場などでは
電源を切る。



声

- 地下鉄や電車、バスの中で大きな声でさわがない。
- 夜には、大きな声を出さない。



- ・ ときどき家の外に出て、自分の家からどれくらい音が出ているか確かめてみましょう。
- ・ 騒音計を使って、実際に音の大きさを測定してみましょう。